

八ヶ岳 赤岳(2899m)

報告 (Na k a)

日 程：平成30年3月29日(水)～30日(木)

メンバー：Kawa, Tsuka, Naka(L)

<赤岳登頂ルート>

この数年毎年登っている。今年は好天に恵まれた。快晴のうえ風が弱い。

登山計画書を F さんに倣い、事前に長野県警にメールした。76, 74, 78 歳という高齢を理由に中止を薦められることもあり得るのではないかと心配したが、「到達番号」と「問合せ番号」が届いた。多分機械的に処理されているのであろう。

今年は雪が少なく、21日に大雪が降ったものの、その後好天が続いているので、雪の状態がどのようなであろうと気になっている。



3月30日(木) 晴れ

8時に京王線高尾山口に集合し、Tsukaさんの車で発つ。芽吹き始めた広葉樹に山桜が映えて美しい。釈迦堂PAと境川PAの間は桃の花も満開に近く、南アルプスも美しい。八ヶ岳PAで明日の朝食や行動食を求め、一気に美濃戸まで入る。ここまで雪はなく、駐車場も乾いている。

10:45(GPS標高1683m、以下、同じ) 発

すぐの美濃戸山荘への登りが、雪が融け、道路一面がスケートリンク状になっており、極めて危険であるが、すぐに裸地になると考え、痩せ我慢してアイゼンを着けない。

その後も残雪、シャーベット状の雪、スケートリンク状の氷と、乾いた路面が交互に現れ、何処でアイゼンを着けるか我慢比べである。

11:41(1951) 林道終点 堰堤ひろば昼食を摂る。ここからは雪道。しかし度々スケートリンク状態に手を焼き、ついにアイゼンを着けたところ、また裸地が長く続く等うま

く行かない。大同心が見えると、まもなく13:10(2199) 赤岳鉱泉着。

空いているが、睡眠に問題を抱えているので贅沢に個室に入る。のんびりストレッチをし、ロープワークのおさらいし、GPSの利用についてノウハウを交換し、そして軽くビール等を飲みながら懇談する。

6時 夕食。いつものようになかなか良い。ご飯、豚汁はお替りできる。

9時の消灯前に床に就く。



＜赤岳鉱泉から阿弥陀岳を望む＞

30日(金) 快晴

ゆっくり起き、用意の朝食を部屋で摂り、身支度して外に出る。温かい。すぐ登りになるので、シャツとフリースで十分である。阿弥陀岳に陽が当たり始めている。

6:00 発きれいに踏まれており、歩きやすい。ヴァリエーション・ルートにも踏み跡がある。中山展望台をパスして、6:34(2362) 行者小屋、テント2張り。単独行者が発の準備をしている。阿弥陀岳には陽が射している。

ここからもよく踏まれているうえに、早朝の低温で固くなっており、アイゼンがよく利く。急登はきついが、休まない。お地藏さんの下の尾根には雪庇が発達して、いつものように雪壁をへつるのではなく、ナイフリッジとなっているところを慎重に歩く。

8:03(2721) 地藏の頭まず、お地藏さんに来年も会えるようにお願いします。

眺望はまことに素晴らしい。例により、被写体はどんなに良くても写せる技量がない。

赤岳へのルートはいつ見ても厳しく見える。風が少し出てきたので、赤岳展望荘の陰で、防風着を着ける。



←＜地藏の頭付近から赤岳を望む＞

9:05(2899) 赤岳この眺望を独り占めである。文三郎道方面の下りは、これまでにないくらい厳しい。すぐの下りではお助け紐として1/2ロープ

を使う。階段の上部で一休みし、雪で覆われて急傾斜なところを用心して降る。ここで2組、3人に会う。

10:45(2349)

11:20行者小屋。赤岳で分かれた単独行者が地藏尾根経由で少し遅れて戻ってきた。



<赤岳より阿弥陀岳、白根三山>

赤岳が雪と氷で磨かれたように光り輝いている。

昼食を摂り、オーバーズボンをぬぎ、アイゼンを着けたままで、下山へ。



今度はどの点でアイゼンを外すか腐心するが、結果として美濃戸小屋の坂道を降りたところまで履いた。13:24(1695) 駐車場

このところ会山行で皆さんに遅れて迷惑をかけているので、日常生活でも少し早く歩くように気をつけている。コースタイム(いずれもメンバーは70歳台)が次のように少し回復してきているのはうれしいことである。

<行者小屋から赤岳>

<コースタイム表：平成28年3月～平成30年3月>

| | 平成30年3 月 | 平成29年3 月 | 平成28年12 月 | 平成28年3 月 |
|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 美濃戸～赤岳鉾泉 | 2:35 | 2:13 | 2:40 | 2:45 |
| ～行者小屋 | 0:34 | 0:51 | 0:50 | 0:55 |
| ～地蔵の頭 | 1:29 | | 2:30 | 2:05 |
| ～赤岳 | 1:02 | 3:00 | 1:45 | 1:30 |
| ～行者小屋 | 1:40 | 1:51 | 2:10 | 1:40 |
| ～美濃戸 | 2:00 | 1:29 | 2:50 | 1:55 |
| 美濃戸～美濃戸 | 9:20 | 9:24 | 12:45 | 10:45 |
| 赤岳鉾泉～赤岳～行者小屋 | 4:45 | 5:42 | 7:15 | 6:10 |

<富士山遠望>

